


瑞山会会報 第28号
 平成9年10月1日発行
 編集発行 / 名古屋市立大学経済学部同窓会・瑞山会編集部
 名古屋市瑞穂区瑞穂町山の畑1 (名古屋市立大学経済学部内)


バーベキューパーティー!!



瑞山会野外バーベキュー大会 平成9年9月7日開催

恒例となったバーベキューパーティーが今年も9月の第1日曜日の9月7日に、内海のフォレストパークで開かれた。

前日の雨も夜中には上がり、日向はまだ暑いですが、日陰に入ると秋の気配を感じさせる穏やかな天気のもとで、30名程の人数が集まり楽しく時を過ごした。

普段やった事もない、火を起こすことから始めなければならず、四苦八苦しながらも、楽しくパーティーの準備を始め、皆でわいわいと歓談してパーティーを楽しんだ。

参加した人の中には、家族と一緒に子供を連れてきた人もおり、一家そろってパーティーを楽しんだ。

食事が終わった後で、ビンゴ大会が開かれ、番号を読み上げる度に、あちこちで「あった」、「ちっともそろわないわ」、「リーチ」、「ビンゴ」等の歓声が上がり、景品を交換する人々が続いた。

楽しかったバーベキュー大会もビンゴ大会を最後に終わり、記念写真を撮った後、翌年も参加しましょうねと皆で言い合いながら今年のバーベキュー大会は終了となった。



経済学部附属経済研究所紹介



経済学部の長年の懸案であった経済研究所が平成8年4月から発足した。設立まで実に長い足どりであった。設立の趣旨は、「国際(的視野にたった)地域経済(の発展を分析)」研究所である。将来、緊密な関係が予想されるアジア経済とのリンクも考慮しながら、中部圏の経済構造、財政、環境、高齢化・福祉問題等を総合的に研究し、名古屋市活性化や公共政策にも役立つ研究所を志向している。

この研究所は以下の5部門で構成されている；

第1部門：地域経済部門

- (a) 地域産業構造研究部門 (信國真載教授、福地崇生教授 (平成9月3月定年退職))
- (b) 地域公共政策研究部門 (下野恵子教授)

第2部門：国際経済部門

- (c) 多国籍企業研究部門 (空席) (d) 国際経済環境研究部門 (空席)

第3部門：国際地域経済システム部門 (小坂弘行教授 (平成9年3月退職))

研究所の部門は5で、教員の定員は3名なので、今後研究所の拡充を図らなければならない。また現在空席のポジションは選考中である。

研究所は、毎年シンポジウムを主催し、セミナーを開き、研究成果を発表している。これまでの研究プロジェクトは、『愛知県産業構造の計量分析—愛知県計量モデルの作成に関する研究—』(福地・山口プロジェクト)、『産業空洞化と地域経済への影響』(小坂プロジェクト)、『公的年金制度と租税制度の統合』(下野・橋木プロジェクト)、信國真載教授が『愛知県計量モデルの作成』および『愛知県産業構造の計量分析』を行って、福地プロジェクトをさらに進めている。また、わが国への影響の大きい「中国と日本・名古屋の経済交流」についての国際的なプロジェクトを検討している。

初代の研究所の所長は福地教授が就任した。

(経済研究所所長 根津永二)

平成10年度 1 尚考選法に関する事項

平成9年7月、名市大よりみだしの要項が公表されましたが、経済学部関係について、次のとおり概要をお知らせします。なお、出願にかかる募集要項は11月中旬から交付されます。

1 募集人員・日程

経済学科 経営学科 (合計200名)	日程別募集人員		個別学力検査日程	出願期間
	特別選抜	30名	課さない	H10.1.19(月)~10.1.23(金)
前期日程	80名	H10.2.25(水)	H10.1.26(月)	
後期日程	90名	H10.3.12(木)	~H10.2.4(金)	

2 一般選抜

(1) 入学者選抜方法……入学者の選抜は、前期日程と後期日程に分けて行う。前期日程・後期日程ともそれぞれ2段階選抜を行う。

- ・第1段階……前期日程・後期日程とも大学入試センター試験の成績(素点)で判断し、各日程ごとに募集人員の約10倍の合格者を決定する。
- ・第2段階……前期日程・後期日程とも第1段階選抜合格者に対して、各日程ごとに個別学力検査を課し、それぞれの結果及び大学入試センター試験・調査書・健康診断の結果を総合的に判断して、最終合格者を決定する。

(2) 大学入試センターと個別学力検査の配点

		国語	数学	外国語	地理・歴史	公民	理科	計	合計
前期	センター試験	200	300	100	100			700	900
	個別検査	—	—	200	—	—	—	200	
後期	センター試験	200	100	100	100			500	900
	個別検査	—	200	200	—	—	—	400	

3 特別選抜(推薦入学)

- (1) 選抜方法……調査書、高等学校長の推薦書(大学所定)、大学入試センター試験の成績(素点)及び健康診断による審査の結果を総合して入学者の選抜を行う。
個別学力検査は課さない。
- (2) 出願要件……高等学校を平成9年3月に卒業又は平成10年3月に卒業見込みの者で、一定の要件(略)に該当する者。
- (3) その他……他大学の推薦入試に出願する者は、名市大の推薦入試に出願できない。

4 その他

入学者選抜の実施教科・科目、特別選抜にかかる出願要件など詳細は大学へお問い合わせ下さい。

(問い合わせ先) 名古屋市立大学学生課入学試験事務室 ☎052-853-8020

OB会開催

辻ゼミOBは去る6月29日にOB会「つつじ会」を開催しました。前日には台風が東海地方に接近しつつあり、一時はどうなることかと気をもんでおりました。幸い予想よりも早く通過し、当日は青空の広がる好天に恵まれました。

辻ゼミについて簡単にご紹介しますと、専攻はマクロ経済、現在現役生はおりませんがOBは約140名でさまざまな分野・地域で活躍されています。そして辻先生は、現在は大阪大学大学院国際公共政策研究科で、私たちOB以上のパワーと情熱で!?幅広い活躍をされています。

OB会に話を戻しますと、当日はOBはじめOBのご家族の方も多数参加され、同期あるいは先輩後輩の歓談の輪が広がりました。ことに先生の近況報

告によれば、「料理」の方も相当の域に達しておられる由(内容は“ビストロSMOP”レベルか)。さらに当日披露された先生の若かりし頃の写真にはOB一同から「かっこいい!」と驚きの声があがっていました。



今回のOB会は名市大で行いました。建設中の新しい校舎等まさに発展しつつある名市大の姿に、参加された皆さんも感慨深いものがあったことと思います。次回のOB会開催時に私たちも一回り大きくなって再開できればと思います。(P.S. 幹事より 今度は台風の来ない時期に設定します)

(20期生 鈴木辰夫)

BOOK REVIEW

書評〈やさしい日本経済の話〉



有斐閣 1993年 2000円+税
この本は、我が名古屋市立大学の9人の先生方の共同執筆により、日本経済の現状を解説したものです。ここで一言申し添えておきますと、学部の授業、またはゼミでの印象はともかく、わが校の先生方の各学会での貢献度は皆さんのお考え以上のものがありまして、学会・研究会

での発表報告の回数にしる、論文の内容の高さにしる、「ウッそー!」と思わず口に出してしまいそうなほどすごいです。ですから、この本は日本を代表する先生方の著だということをご承知おき下さい。題名にあります通りに、この本が“やさしい”かどうかは、ひとえに読む側の知識によるため、一概には言えません。が、例えばこの本に沿って各章につき2回ほどで、一年間で25~6回の講義をしますと、学部生でも十分“優”がとれるかな、という点ではやさしいと言えるかと思えます。

さて内容ですが、それぞれの持ち味を出し合って、多岐にわたりメスが入られ、日本経済を読み解くヒントが盛り沢山に入っています。この本全体を通して共通するセンテンスは「(経済・経営の) 日本的 (側面)」と「バブル経済とその崩壊」です。共に、80年代の日本経済に関心があった人には馴染みの深い用語ですし、オイルショック時のトイレットペーパー騒動並に身近な問題でしたので、当時の思い出と重ねて読むのも一興かと思えます。

それぞれの章が日本経済の主なトピックスを簡潔に説明し充実しており、どこからでも読むことができます。新聞を読んでいて、「あれ?」と思ったときに辞書代わりに開く、という具合です。ただ、このような「便利さ」は、各章ごとのつながり具合が曖昧で、本の構成の全体像が掴みにくいことに通じ、この点が惜まれます。仮に、9章の“コメ”問題を3章のあとにでも移した上で、5章の“株バブル”までを第1部-経済学的分野とし、6章の“カンバン方式”から8章の“人事問題”までを第2部-経営学的分野、10~11章を第3部-今後の課題とでもおいてみたら、より親切だったのかなという気がします。2点目としまして、全体にマクロの視点からの説明が多くなってしまったことが残念でした。名市大の4年間の在籍中あれだけミクロ経済学に苦勞させられた者として、もっとミクロの視点で捉えたものが、できれば“日本的”な面のミクロによる分析なんてものがあっても良かったんじゃないかというのが正直なところではあります。

全編を通していえることなのですが、出版された当時はまだバブルの崩壊直後だったこともあり、その印象が色濃く反映されているのです。いまの日本経済は、当時の後始末に一段落をつけ、新たなステップを踏み出したところではあります。さらに世間の関心も“金融ビッグバン”を目前にどう生き延びていくとか、勧銀・野村・山一の事件などを期に“コーポレート・ガバナンス”、つまり企業のトップから組織全体の構成にわたる、企業の管理・運営の在り方の今後を見守るところにきています。もしかすると、この数年間のうちに社会の在り方が一変するやもしれないのです。

なにとはともあれ、同窓会や瑞山会の集まりの席での話題にはもってこいですので、是非ともご一読頂きたいと思う次第です。(17期生 伊藤正之)

新しい時代を創る人と人とをつなぐ ネオ・キャリア・ネットワーク Vol.3

伊藤正之さん [17期生] 大阪経済大学経済学部講師・伊藤志のぶさん [19期生] 名城大学短期大学部助教授

清水 [●] この企画は、第3回目となります。「様々なキャリアで、社会で活躍されるOBの、「人と仕事」をご紹介することで、OB同士や学生との交流、自己啓発のお役に立ちたい」というのがこの企画の目的です。これまでは、民間企業の管理職の方に、お話をお伺いしましたが、今回は、趣を変え、大学で教職/研究職につく若い夫妻のお話をお伺いします。

伊藤正之 [□] もう、そんなに若くないですよ。子供が2人もいますし。

●今、お子さんはどうされているんですか。

伊藤志のぶ [○] 里に預けてきました [笑]。近くに、母がいるものですから。私たちは共稼ぎですから、本当に助かります。週の半分は、夫は京都ですし、共働きの単身赴任家族ですね。私は、保育園と職場と家の間を、髪をふり乱して主婦してますよ。

●それにしても、カフェで、こうして伊藤さん夫妻とパフェをいただきながらのインタビューというのも、これまでの企業の応接室での取材とは、何か趣が面白いですね。まず、正之さんの名古屋市立大学時代の専攻などから。

□国村ゼミで株式について勉強しまして、大学院進学後も、国村先生にお世話になり、現在まで主に、株式市場をテーマとして研究を続けています。

●金融ビッグバンとか、今、話題になっている分野ですよ。ところで、正之さんご自身は、株式投資とかされるんですか？

○そうそう。そうやって副業で稼いでくれるといいんですけどね。儲かる株式投資の研究みたいな。

●考古学教えながら、遺跡を暴いて宝探しをしてるインディ・ジョーンズ博士みたいでかっこいいですね。

□先日、ファンドが満期になって戻ってきたんです。10万円くらい買って、5年預けたら9万円になってもどってきた。元本割れですね。マクロ的に統計で見ると、株式投資の損得というのは、年利6%くらいでしょう。普通預金よりはいいですよ。それでも、バブルの崩壊で、このざまです。しかし、さらに、ミクロで見て、個々の株式を買うとなると、株は玉石混淆ですから、どれだけその企業を研究したって、儲かるかどうかなんて、知識の世界じゃないですね。経験、勘、度胸・・・賭けや決断の世界の話ですね。僕が研究テーマにしているのは、株取引に参加するとはどういうことなのか、それをできるだけ簡単なしくみとして、多くの人に理解されるような貢献ができればと考えているんです。

●最近ですと、株取引って、証券会社と総会屋の癒着とか、損失補填とか、暗いイメージが多いですよ。

□株取引それ自体は、複雑でもないのに、なぜか、個別の株価の不確定な変動が、損をする不安をおおる形で、株の取引そのものが複雑のような印象を、一般の人に与えていますよね。だから、「株で儲ける方法」なんて本が、毎年毎年、出ては売れ、消え、ま

た出ては売れを繰り返している。書いてあることは同じなのに。また、証券会社の営業マンを、窓口としてではなく、専門家のように依存する一般投資家も多い。

●「上がりそうな株があったら、教えてくれ」「わかりました、社長」みたいな。

□そう。そこから、おかしいんです。証券会社は、投資家と市場の中間媒介にしか過ぎません。どの株をいくらで買うかを判断するのは、自分自身のはずなのに。こうした投資家の依存体質と、それに寛容な業界や、政府官庁の土壌が、損失補填問題や、数々の不祥事を引き起こしていると思います。選択の自由があって、自己責任原則を貫く中で、自分の判断で損をしたなら、自分に腹が立つだけですが、誰かに依存して裏切られたとなると、怒りは外部に向きます。証券会社も、他社との競争で、顧客の獲得・維持に必死です。そこで、補填された人と、されなかった人。情報をもらった人と、もらわなかった人みたいな不公平があれば、どうです。当然、怒りは爆発します。悪循環です。

●なるほど、どの株を買うのかは、恐いくらい迷っても、株式市場や取引への参加そのものは、誰でも気軽に入っていけるみたいな感じですね。何か、今の株の世界というのは、一部のプロの人が、見えないところで、危険も顧みずに、たくさんのお金を使って、何か勝負してるってイメージありますよね。とても、わたしのような人間が、はした金で参加できないみたいな。

□問題の根本は、投資家自身の依存心理や行動を自ら断ち切ること。業界が投資家の依存に対して不寛容であること。専門知識ということではなく株式投資への参加に関する情報を、わかりやすく投資家や、投資したい人に知らせること。すべての投資に関する情報を公開すること。実質的に、こういうルールやしきみを作り上げることが大切だと思っています。そうすると、投資家が草の根のレベルで増えます。市場も活性化するはず。こうした、何が大切なかを押さえた上で、金融市場について、わかりやすく学生に教えていきたいですね。

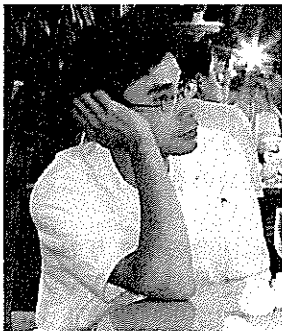
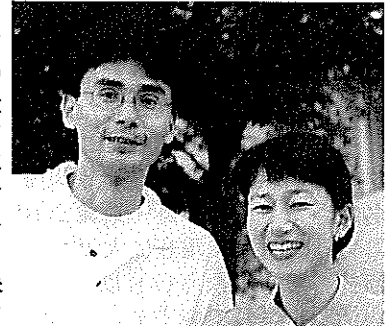
●現在のお仕事において、正之さんと志のぶさんに、お聞きします。研究職と教職のウエイトというのは、どれくらいなんですか。

□5対5かな。僕の授業では、「理解しやすさ」自体がテーマなので、学生とはまず共有したいんです。

○私も、名城大学の短期学部で経済原論と統計学を教えています。どちらがメインってことはないですね。

●そもそも、こうしたキャリアを選択された理由をお聞かせください。大学院に進まれるからには、本当に勉強がお好きだったんですね。

□そんなことはありませんよ。大学4年の時に、何だか、このまま、普通のサラリーマンになるのに抵抗があって、就職活動もしないものだから、国村先生が見るに見かね



て、大学院への受験を薦めてくれたのがキッカケなんです。1年浪人したら、どうにか入れてもらえた、という感じですね。

○私の時は、男女雇用機会均等法の施行の年でしたが、当時考えたのは、女性も経済的に自立していくことが不可欠ということでした。一人の人を好きになって、結婚して、自然に嫌いになって別れられるためには、経済的な自立を獲得して、主体性を保つことが必要だと思いました。もう一つ、やっぱり、女性は結婚して、子供を産んで、育てて、働きつづけるには、日本の企業では、冷たい現実があるなあと思ったんです。そうすると、公務員か、教師かな。勉強は嫌いでなかったから、まず大学院に進みました。大学時代は、辻ゼミで理論経済学を専攻していました。辻先生からは、院に来るのは構わないが、就職先は自分で見つけるようにと言われたんです。その時、博士号とらなきゃ、食べていけなくなる。そのためには、絶対に留学しなくっちゃと決意したんです。

□当時の院は、前期・後期合わせて10人ぐらいで、寺子屋のようでした。とにかく、ゼミのような環境で、事前に文献を与えられ、理解するもしないもガンガン読みまくって、講義に臨みましたね。

●お二人は、そこでお知り合いになったのですね。

○そうです。当時の私は、留学のために、本当に勉強して準備をしていたのですが、なかなか奨学金がおりない。もう、伊藤と一緒に暮らそうって決めて、新婚旅行から戻ったら、なんと奨学生の合格通知が来ていて、すぐに渡米することになったんです。結婚生活スタートからの別居生活。5年は覚悟したんです。でも、別居を大変に不自然なものに感じるようになり、1年で切り上げてしまいました。本当に迷いましたよ。帰国後は「挫折した」という思いで、しばらく何もできませんでした。今はその話を、うちの短大生にして「女性の20代はいろいろあっておもしろいよ。」なんてカッコつけて言ってます。実際、結婚や出産など女性は、男性よりも早い時期にいくつも人生の意思決定を重ねて行なわなければいけませんよね。

●今、大切にされていることや、目指しておられることはなんですか？

□最近、「常識」と言われるものについて考えるんです。今の常識にとらわれたり、依存したりして、こうしなさい、ああしなさいという時代は終わったのかなって思います。人は、何か問題におち当たった時に右に行くか、左に行くかを決めるのは、本人であって、常識に左右されるべきではない。自分で責任をとる覚悟で、自由に考えて、行動は自ら決めることが大切だと思います。

●先ほどの「投資家のあり方」に通じるものがありますね。今のお仕事をモチベートしているものは何ですか？

□自分の興味ですね。単に、自分の知らないことを知りたいという欲求です。わからないことが、わかるようになるって言うのは、本当にすばらしい瞬間ですね。この年齢になっても、こうして、自由な時間に、自分の興味に忠実に、知りたいことを、一つ一つ自分のものにしていくような仕事につけたことをうれしく思っています。わからないことは、まだまだたくさんあります。今、考えているテーマは、株式市場において、なぜ、企業や個人は、そのタイミングで取引を決断するのか、そこまでの心理やテクニカルなプロセスを研究したいと思っています。

○私も、知りたいことがいっぱいありますね。机の上に肘をつけて考え事をするのって、一番うれしい時間なんです。所得分配の公正というテーマで研究を続けている

んですが、特に、日本人特有の公平観というものがあるのだろうかという事を考えています。概して日本人というのは、横



並びが好きで、嫉妬深い民族性だという話は聞きますよね。例えば、企業が不正を行ったとします。多くの人々は、不正そのものや、その温床を怒るのではなく、「自分だけ、うまくやりやがって」と怒ったりしがちです。公平に、「うまくやれる側」に立てれば、おさまる怒りなんですね。そうすると、この怒りは、何の構造問題の解決につながりません。相変わらず、既得権益を持つ人々が擁護され、そのコネクションが障害になって、自由な個人が不公正な競争を余儀なく強いられたりします。独立よりも、大企業の組織にいる方が、個人の力を発揮しやすい。リスクが少なく、高い収入が得られる。今の日本は、まだまだ自由度に欠ける社会だと思います。アメリカが良いとは言いませんが、この国も、もっと個人の自己責任で行動できる人が増えなければいけませんね。源泉徴収ではなく、青色申告のビジネスマンが増え、自覚的な納税を機会に、企業の不正による税金の誘導や、税金の無駄使いにNOといえるようになれば、良いと思います。

●何で、こんな国になっちゃったんでしょうね。給与明細見て、あまりの源泉徴収の多さに、怒りを飛び越して、ぞっとすることがあります。何に使われているのかしら、みたいな。

□わからないでしょ。

●わからないですね。これって、株取引のしくみがわからないのといっしょですよ。源泉徴収額には、ものすごくリアリティーあるのに、その先ってブラックホールでしょ。知ろうとしない自分が悪いのかな。なんか、私たちの世代が、もっと元気にならなきゃ、変わらないのかって思います。

○私たち、パフェ食べながら、結構、高尚な話してますよね。こんなインタビューまとまるんですか？

●がんばりまーす。ところで、名市大の6000人のネットワークに期待したいことはありますか？

□何か、商売のネタを交換しあって、お互いのビジネスに活かせるような、実利的な関係もいいなと思いますね。

○企業の皆さん、名城短大の学生の採用を、よろしくお願いします。良い子ばかりですから。それにしても、女性は、6000人中、何人なのでしょうね。一度、女性だけで、集まってみたいものですね。何されているのかしら。

●それは、おもしろそうなイベント企画ですね。これからも、この「ネオ・キャリア・ネットワーク」で、主婦業というキャリアをはじめ、女性の方のキャリアを、積極的に、ご紹介していきたいと思っています。今日は、お子さんを里子に出してまで、取材に、ご協力いただきありがとうございました。

[97年8月9日 キャッツ・カフェ植田店にて]

編集委員 清水綾子 [30期生]

湯浅伸庸 [18期生]

「瑞山会 総会 (兼代議員会) のご案内」

平成9年度 通常総会 (兼代議員会) が下記のとおり開催されることとなりました。ご家族そろっての参加も歓迎いたしますので、皆様お誘いあわせのうえ、是非ご出席くださいますようご案内いたします。

記

- 1 日 時 平成9年11月8日 (土)
午後4:30～ 受付
5:00～5:30 総会 (兼代議員会)
5:30～7:30 懇親パーティ (豪華景品付きビンゴゲームなど)
- 2 会 場 名鉄新名古屋駅南 名鉄メルサ「名鉄グランドホテル」
☎ (052) 582-2211
- 3 会 費 3,000円
- 4 出 欠 同封のハガキに郵便切手 (50円) を貼って、10月25日 (土) までに投函して下さい。
(連絡先) 瑞山会庶務部長 八木得三 (5期生) TEL (052) 704-5061 (プラッチ商会)
FAX (052) 704-5082

事業部 だより

5月のゴルフコンペでは、出席希望にもかかわらず参加できなかった皆様には大変申し訳ありませんでした。早い内に予定人数を上回ってしまいましたので締め切ってしまいましたが、間際でキャンセルが出て結果的には参加できたのでした。次回の11月1日 (土) には優先的にご案内しますのでよろしくお願ひします。場所は、豊田CCです。9月7日 (日) には内海フォレストパークでパーベキュー大会が開催されました。しばらく内海が続きましたので来年は別の場所だと思っております。良いアイデアがあったらお聞かせください。11月9日 (日) には大学祭模擬店でOBコーナーを設けますので是非ご参加ください。今シーズンはスキーツアーを実現したいので、若い方の参加をお待ちしています。春には例年どおり4月5日に山崎川散策と茶会、4月25日にOBゴルフコンペ、5月3日に硬式テニスの会と、目白押しです。何にでもいいですし、全部でもいいですので奮ってご参加ください。詳しくは事業部までお問い合わせください。
(事業部長 逸見 052-914-6221)

恒例の「学生とOB・OGとの交流会」今年も11月に開催

後輩諸君の就職活動支援のため、多数の皆さんのご参加をお願いします。

毎年恒例になりました「OB・OGとの交流会」(経済学部ゼミナール協議会主催) が今年も右記の予定で開催されることになりました。この企画は、就職を控えた現3年の学生の皆さんに、社会で活躍する先輩方と懇談する機会を提供し、目前に迫った就職活動の応援ができればという企画です。経済事務主催の就職ガイダンスに引き続いて開催され、毎年、メーカー・金融・商社など幅広い業界の皆さんにご参加頂いています。マンモス私大と違い、情報収集の機会が少ない名市大の後輩の応援のために、ご多忙の折りかと思ひますが皆さんの参加をお願ひ致します。

- 日時 11月7日 (金) 18:00位～21:00
(座談会ですので何時からでも参加できます)
- 場所 山の畑キャンパス 学生会館 3階和室 (予定)
- 問い合わせ先
☎ (052) 872-5886 (ゼミ協内 奥村—4年生)
☎ (052) 222-6751 (株ディスコ内 中村—20期卒)

※営業から、人事、リクレーター経験の方など多様な職種の皆さんをお待ちしています。突然のご参加も歓迎します。仕事帰りに大学に是非お寄り下さい。

瑞山会 会 員 名 簿 第 6 号 12月発行予定 (1部 4,000円)

まだ、申込みでない方は是非同封のはがきにてご予約ください!
(既にご予約いただいている方は、ご記入の必要はありません。)
今後とも、有意義な名簿発行をしていきますので、宜しくお願ひいたします。